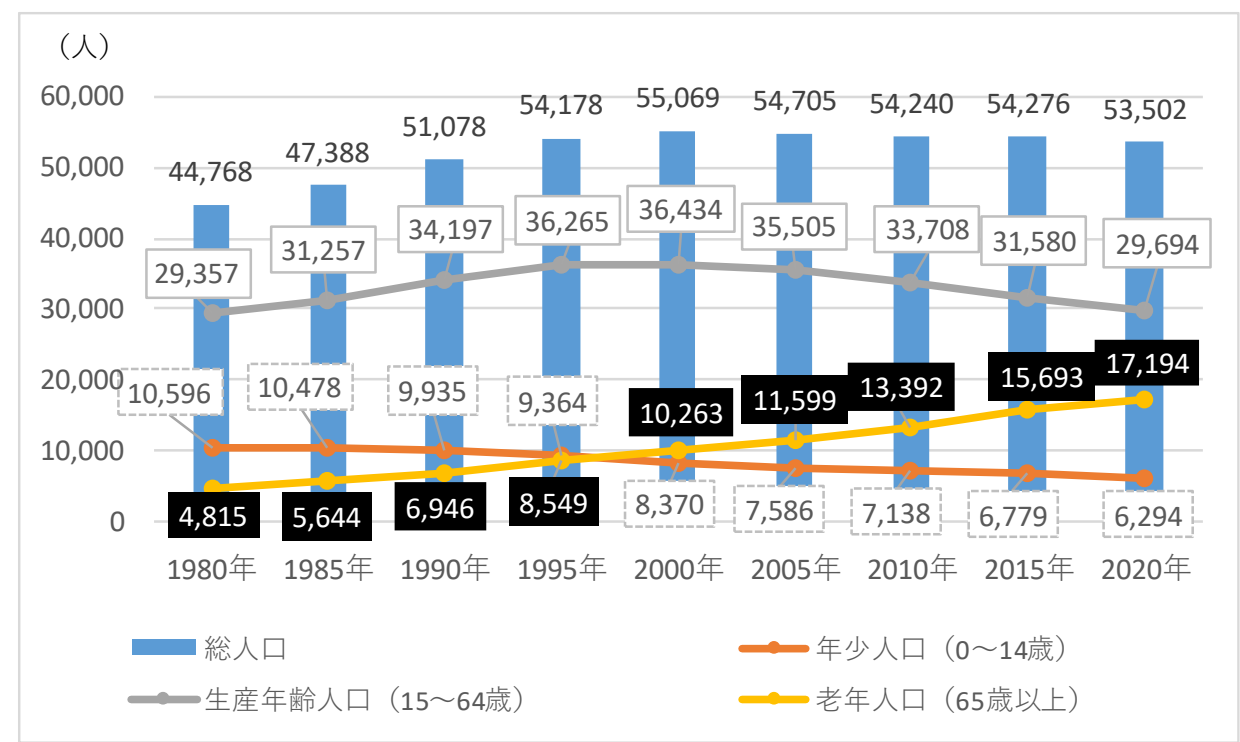


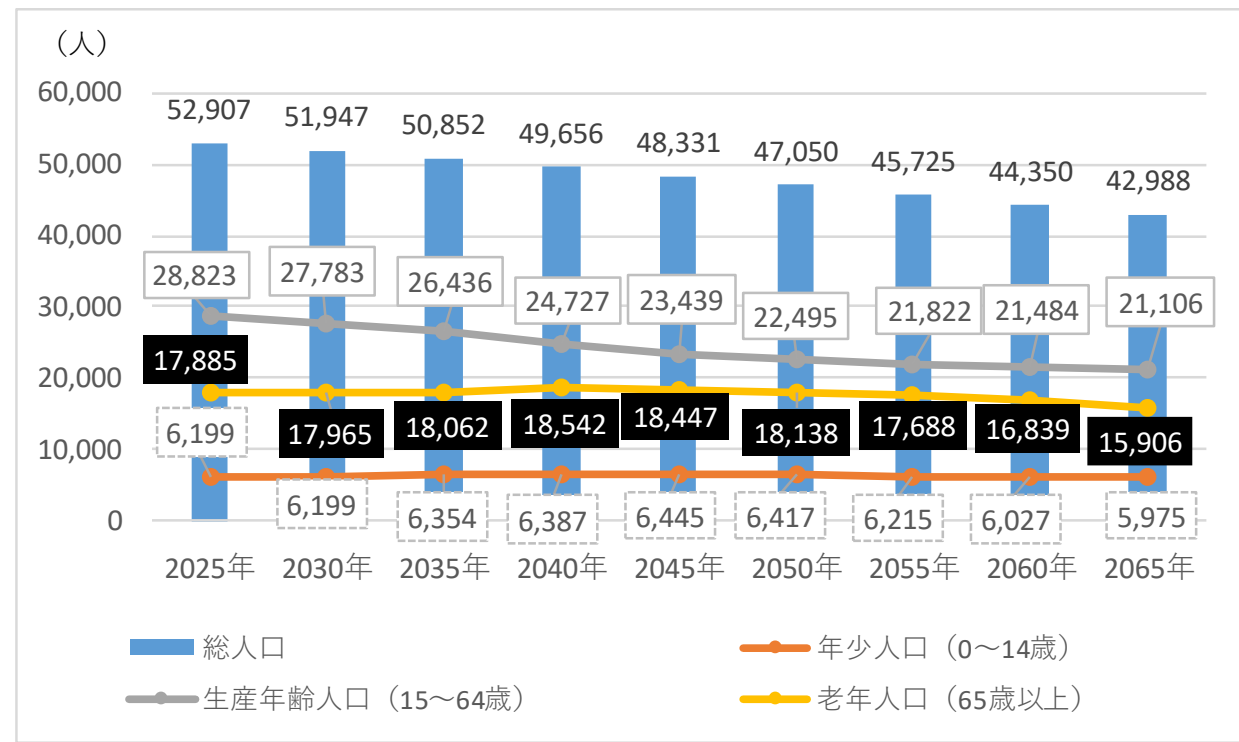
那珂市デジタル田園都市構想総合戦略 人口ビジョン（概要）

那珂市の人口の動向



- ◆ 総人口が緩やかに減少～生産年齢人口が減少し、少子化と高齢化が同時進行
 - ・総人口は2000年をピークに緩やかに減少
 - ・生産年齢人口は2000年をピークに減少、年少人口は一貫して減少する一方、老年人口は年々増加
- ◆ 死亡数が出生数を上回る自然減少が2003年以降続く
 - ・2003年以降死亡数が出生数を上回り、直近10年では年平均310人程度の自然減少となる。
 - ・合計特殊出生率が伸び悩み、出生数の減少傾向が続く。
- ◆ 転入超過による社会増加が続くが、進学・就職により若者が流出
 - ・直近10年では年平均64人程度の社会増加となる。
 - ・進学・就職を機に10代後半から20代後半の世代が転入超過となる一方、その他の世代は転入超過

将来人口推計



- ◆ 将来人口推計における仮定
 - ① 合計特殊出生率の改善
 - ・那珂市の若い世代の希望を実現することにより、国が目標としている2030年に合計特殊出生率1.80程度、2040年に2.07程度への改善を実現する。
 - ② 社会移動の改善
 - ・若い世代が住みやすい環境を整備するとともに、就職希望を実現することにより転出抑制を図り、移住も促進し、30代以下の社会増加を年間50人程度実現する。

目指すべき将来の方向

- ① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を早期にかなえる
- ② 社会動態における転入超過の維持・増加を図る
- ③ 若い世代の転出を抑制する

将来展望人口

合計特殊出生率の改善と転入超過の継続により、
2040年の人口：49,000人、2060年の人口：44,000人
を展望します。

那珂市デジタル田園都市構想総合戦略（概要）

総合戦略の目的

- ◆ 人口減少社会への対応、地域経済縮小への対応
 - ・自然減少幅は拡大傾向にあり、今後の加速度的な人口減少への早急な対応が必要
 - ・年少人口及び生産年齢人口の減少による地域経済の縮小や、それに伴う住民の経済力の縮小や地域社会の基盤維持への対応が必要
- ◆ 「まち・ひと・しごと」の創生
 - ・「ひと」が「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び込む流れをつくることが不可欠
 - ・「しごと」が「ひと」を呼び込む流れを支える基盤として「まち」を整備していくことが重要
 - ・デジタルの力を活かすことで「まち・ひと・しごと」の創生を後押ししていくことが必要

総合戦略の期間

- ◆ 目標年度：令和 11（2029）年度
- ◆ 計画期間：令和 7（2025）年度から令和 11（2029）年度
 - ※ 施策の効果検証や国の施策の方向性及び社会情勢の変化等により随時改定

地域ビジョンと基本戦略、プロジェクト

地域 ビジョン	戦略	プロジェクト
(第2次那珂市総合計画後期計画 まちづくりの目標)	戦略1 安定した雇用の創出戦略 国の施策方向① 地方に仕事をつくる	(1) 「農業で稼ぐ」いい那珂プロジェクト (2) 「ここで働きたい」いい那珂プロジェクト
	戦略2 那珂市への人口還流戦略 国の施策方向② 人の流れをつくる	(1) 「ここに住みたい」いい那珂プロジェクト (2) 「暮らしやすいまち」いい那珂プロジェクト
	戦略3 結婚・出産・子育て応援戦略 国の施策方向③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 「結婚・出産・子育て」いい那珂プロジェクト (2) 「子どもを育む」いい那珂プロジェクト
	戦略4 魅力的な地域の創造戦略 国の施策方向④ 魅力的な地域をつくる	(1) 「多様な市民の健康・福祉」いい那珂プロジェクト (2) 「市民の日常を豊かに育む」いい那珂プロジェクト

プロジェクトと具体的な施策、数値目標（KGI）

プロジェクト	具体的な施策	数値目標（KGI）
戦略1 安定した雇用の創出戦略		
(1) 「農業で稼ぐ」いい那珂プロジェクト 2 農業を営む人への支援 8 農業に携わる人への支援 9 農業と観光が連携した地域づくり 12 持続可能な地域づくり	① 農業収益力向上 ② 担い手の育成支援	生産年齢人口の 就業率 78.0% 令和11（2029）年
(2) 「ここで働きたい」いい那珂プロジェクト 4 農産物の加工・販売 5 ジェンダー平等な働き場づくり 8 働きがいのある職場づくり 9 農業と観光が連携した地域づくり	① 創業支援・企業支援の強化 ② 地元就業の促進 ③ 商工業・観光によるしごとの創出	
戦略2 那珂市への人口還流戦略		
(1) 「ここに住みたい」いい那珂プロジェクト 11 住みやすいまちづくり 12 持続可能な地域づくり	① 移住定住の促進 ② 交流人口・関係人口の創出	社会動態による 年間増加者数 各年80人
(2) 「暮らしやすいまち」いい那珂プロジェクト 7 安全で安心できるまちづくり 9 農業と観光が連携した地域づくり 11 住みやすいまちづくり 12 持続可能な地域づくり 13 自然環境に配慮したまちづくり 14 環境に配慮したまちづくり 15 持続可能なまちづくり	① 住みよいまちづくりの推進 ② 安全で強靱なまちづくりの推進 ③ 環境に配慮したまちづくりの実現 ④ 行財政改革による自律的なまちの実現	
戦略3 結婚・出産・子育て応援戦略		
(1) 「結婚・出産・子育て」いい那珂プロジェクト 3 子育て世代の暮らしを支える 5 ジェンダー平等な働き場づくり 8 働きがいのある職場づくり 11 住みやすいまちづくり	① 結婚の促進 ② 安心できる妊娠・出産・子育て環境の提供 ③ 家庭と仕事の両立支援	年間出生者数 各年380人
(2) 「子どもを育む」いい那珂プロジェクト 4 子どもの育ちを支える	① 教育環境の充実	
戦略4 魅力的な地域の創造戦略		
(1) 「多様な市民の健康・福祉」いい那珂プロジェクト 3 子育て世代の暮らしを支える 10 生涯学習の環境整備 11 住みやすいまちづくり	① 健康寿命の延伸 ② 福祉の充実 ③ 医療環境の充実	住みやすいと思う 市民の割合 各年91.0%
(2) 「市民の日常を豊かに育む」いい那珂プロジェクト 3 子育て世代の暮らしを支える 4 子どもの育ちを支える 11 住みやすいまちづくり 16 市民交流によるにぎわいづくり 17 生涯学習の環境整備	① 市民交流によるにぎわいづくり ② 生涯学習の環境整備 ③ スポーツに親しむ環境整備 ④ 歴史資産と伝統文化の保存・継承	

那珂市デジタル田園都市構想総合戦略（概要）＜具体的な事業・重要業績評価指標（KPI）＞								
戦略	基本的方向	具体的な施策	具体的な事業	重要業績指標評価（KPI）	基準年/現状値		目標値	
戦略1「安定した雇用の創出戦略」	1）「農業で稼ぐ」いい那珂プロジェクト	① 農業の収益力向上	（ア）地産地消の推進	事業実施による売上高	令和5(2023)年度	3億5,446万円	最終年度	3億8,300万円
			（イ）6次産業化の推進					
			（ウ）販路拡大の推進					
		② 担い手の育成支援	（ア）新規就農への支援	認定新規就農者数	令和5(2023)年度	2経営体	各年	2経営体
				認定農業者数	令和5(2023)年度	93経営体	最終年度	95経営体
	2）「ここで働きたい」いい那珂プロジェクト	① 創業支援・企業支援の強化	（ア）よろず相談による創業・企業支援	那珂市よろず相談窓口相談・支援件数	令和5(2023)年度	380件	各年	390件
			（ア）各種就職相談会の開催	就職相談会・セミナー等の開催回数	令和5(2023)年度	4回	各年	7回
			（イ）インターンシップの推進					
			（ウ）テレワークの推進					
		③ 商工業・観光によるしごとの創出	（ア）地域に活力をもたらす商工業の振興	商品販売額	令和3(2021)年度	772億円	各年	772億円
			（イ）道の駅整備による地域経済の活性化	製造品出荷額等	令和3(2021)年度	626億円	各年	754億円
			（ウ）地域資源を活かした観光振興	観光入込客数	令和5(2023)年度	21万人	各年	33万人
			（エ）自転車によるにぎわい創出					
戦略2「那珂市への人口還流戦略」	1）「ここに住みたい」いい那珂プロジェクト	① 移住定住の促進	（ア）移住・定住に向けた支援	各種移住支援制度を利用した転入者数	令和5(2023)年度	269人	各年	280人
			（イ）いい那珂暮らしの情報発信強化					
			（ウ）地域おこし協力隊の活用					
		② 交流人口・関係人口の創出	（ア）サテライトオフィス誘致の推進	事業実施による関係人口創出数	令和5(2023)年度	137人	各年	100人
			（イ）移住体験の実施					
			（ウ）いい那珂暮らし応援団の運営					
	2）「暮らしやすいまち」いい那珂プロジェクト	① 住みよいまちづくりの推進	（ア）生活基盤の整備推進	市街化区域の宅地化率	令和5(2023)年度	64.0%	最終年度	65.5%
			（イ）空き家の利活用推進	空き家バンク成約件数	令和5(2023)年度	6件	累計	18件
			（ウ）公共交通の改善と利用促進	日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	令和5(2023)年度	66.0%	最終年度	72.0%
		② 安全で強靱なまちづくりの推進	（ア）防災・減災・災害対応の強化	災害が少ない又は必要な対策が取られているため、安全な生活が送れているとを感じる市民の割合	令和5(2023)年度	58.4%	最終年度	60.8%
			（イ）防犯対策の推進	犯罪が少ない又は必要な対策が取られているため、安全な生活が送れているとを感じる市民の割合	令和5(2023)年度	28.9%	最終年度	37.3%
			（ウ）交通安全の推進	交通事故件数	令和5(2023)年度	135件	最終年度	129件
		③ 環境に配慮したまちづくりの推進	（ア）健康で快適に過ごせる生活環境の保全	苦情件数（大気汚染、騒音、振動、悪臭など）	令和5(2023)年度	53件	最終年度	30件
			（イ）地球にやさしい持続可能な社会への転換	リサイクル率	令和5(2023)年度	9.8%	最終年度	17.5%
		④ 行財政改革による自立的なまちの実現	（ア）市民サービスの向上と業務効率化の推進	行政サービスに対する市民の満足度	令和5(2023)年度	77.4%	最終年度	82.0%
			（イ）改革を推進する職員の育成・確保					
戦略3「結婚・出産・子育て応援戦略」	1）「結婚・出産・子育て」いい那珂プロジェクト	① 結婚の促進	（ア）結婚支援の推進	いばらき出会いサポートセンター登録助成制度利用者数	令和5(2023)年度	9人	各年	20人
			（イ）ライフデザインの形成支援	ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	82.0%	各年	90.0%
		② 安心できる妊娠・出産・子育て環境の提供	（ア）子育て世代の経済的負担の軽減	妊娠・出産・子育てに関する経済的支援が充実していると感じる人の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	20.0%	各年	50.0%
			（イ）不妊治療・不育症治療への支援		令和5(2023)年度	（新規）	各年	3,700件
			（ウ）子育て世代への包括支援 （子育て支援・子どもの健康）	子ども家庭センター相談件数	令和5(2023)年度	62.0%	各年	65.0%
				子どもを安心して預けられる人や場所があると感じる人の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	82.7%	各年	85.0%
		③ 家庭と仕事の両立支援	（ア）保育施設の支援	乳児健康相談参加率	令和5(2023)年度	0人	各年	0人
			（イ）放課後児童クラブの支援	待機児童人数（保育）	令和5(2023)年度	29人	各年	0人
	2）「子どもを育む」いい那珂プロジェクト	① 教育環境の充実	（ウ）病児・病後児保育の支援	待機児童人数（学童）	令和5(2023)年度	51.2%	各年	57.0%
			（ア）保幼小中連携の推進	小学校・幼稚園・保育所間の交流活動が有効であると答えた教職員の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	（新規）	各年	90.0%
			（イ）英語教育の充実	英語検定3級以上相当の英語力をもつ生徒の割合	令和5(2023)年度	85.7%	各年	100.0%
			（ウ）ICT教育の充実	児童生徒一人ひとりに配備したタブレットを、授業でほぼ毎日活用している学校の割合	令和6(2024)年度	78.6%	各年	100.0%
				児童生徒一人ひとりに配備したタブレットを、毎日持ち帰り毎日家庭で利用できるようにしている学校の割合	令和6(2024)年度	51.2%	各年	57.0%
			（エ）特色ある給食の推進	地場産食材の利用率	令和5(2023)年度	72.1%	各年	82.0%
戦略4「魅力的な地域の創造戦略」	1）「多様な市民の健康・福祉」いい那珂プロジェクト	① 健康寿命の延伸	（ア）適切な生活習慣の維持・改善	健康であると感じている市民の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	85.1%	各年	92.0%
			（イ）生活習慣病の発症予防と重症化予防					
			（ウ）地域の力を活用した健康づくり					
		② 福祉の充実	（ア）高齢者がいきいきと暮らせる環境整備	生きがいを持っていると答えた高齢者の割合	令和5(2023)年度	45.8%	各年	50.0%
			（イ）障がい者が安心して暮らせる環境整備	障がいのある方が住みやすいと思う市民の割合	令和5(2023)年度	20.8%	各年	32.0%
			（ウ）家庭や地域で支える福祉環境の整備	福祉環境に不安を感じない福祉の割合	令和5(2023)年度	71.0%	各年	75.0%
	2）「市民の日常を豊かに育む」いい那珂プロジェクト	① 市民交流によるにぎわいづくり	（ア）地域医療と救急医療体制の充実	必要なときに適切な医療が受けられると思っている市民の割合	令和5(2023)年度	40.2%	各年	52.0%
			（ア）市民活動への支援	まちづくり活動に参加している市民の割合	令和5(2023)年度	24.5%	最終年度	30.0%
			（ア）生涯学習の支援と芸術振興	学習活動をしている市民の割合	令和5(2023)年度	60.9%	最終年度	78.0%
			（ア）スポーツ環境の充実と生涯スポーツ活動の支援	日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	令和5(2023)年度	67.6%	最終年度	77.0%
			（ア）歴史資産と伝統文化の保存・継承	指定文化財を知っている市民の割合（アンケート）	令和5(2023)年度			
					令和5(2023)年度			